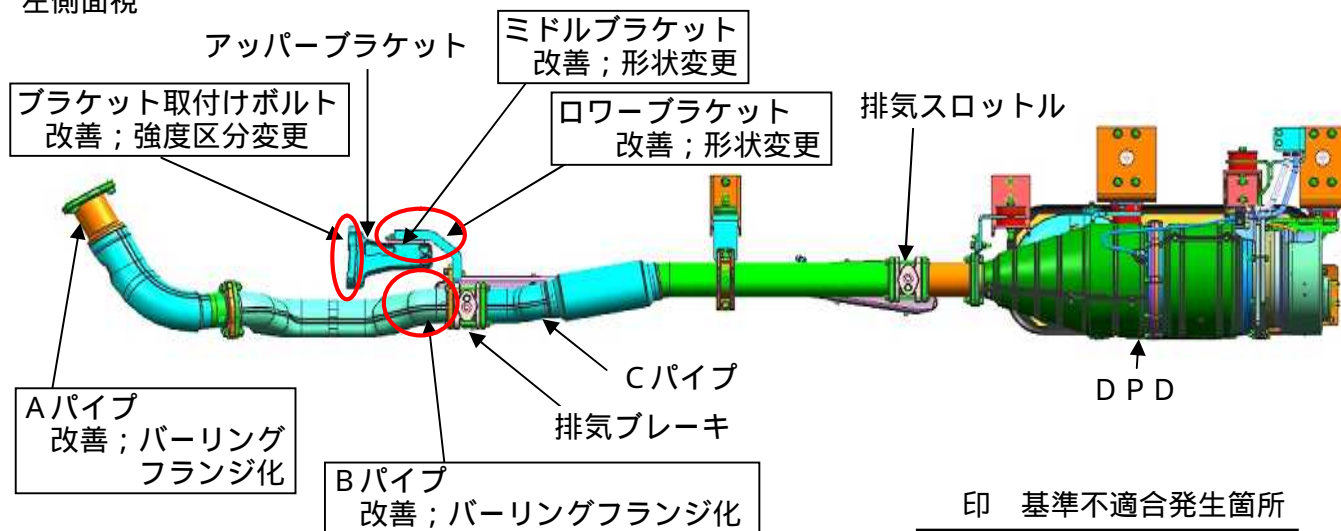


改善箇所説明図

(2010-2011年式 FSR34, FTR34, FTS34, FVR34, FVZ34)



左側面視



FVR34 左側面視



中型トラックにおいて、排気管の構造が不適切なため、エンジン回転による共振、および冷熱の繰り返しにより排気管に過大な入力が発生し、排気管、排気管ブラケット、クランプ等に亀裂が生じることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、騒音が増大するおそれがある。

改善の内容

全車両、排気管、排気管ブラケット、クランプを対策品に交換する。尚、対策部品の準備に時間を要し、車両型式毎に不具合発生箇所が異なるため、不具合件数の多いものから恒久対策を行う。

暫定対策; 排気管周辺より異音が発生している等、異常を感じた場合には点検を行い、不具合部位に亀裂が確認された場合は、新品に交換または修理を行う。

恒久対策開始時期(予定) 2014年1月

識別 : 恒久対策済車には、バッテリーボックス前側フレームに水色シールを貼付する。
暫定対策済車には、バッテリーボックス前側フレームに黄色シールを貼付する。

注 : は、措置する部品を示す。